

それゆけ
防災くん!



地域で支える 防災まちづくりレポート



地域を守るため 上板並で発足! 「サンダーバード隊」

災害初期の対応を
自分たちの力で!
地域を支える心強い味方に…

上板並は、姉川上流に位置する80世帯余りの山あいの地域。

昨年9月4日の台風12号の大雨では、急傾斜地で小規模な土砂崩れが発生し、水路から田んぼへ土砂が入りそうになったほか、市道が一部崩落するなどの被害が発生しました。このときは、地元にあった建設機械で応急処置を行ってことなきを得たそうです。

こういった経験を受け、人手とパワーを必要とする自然災害に対して、建設機械を活用した防災体制を整えようと、区長の伊賀並正信さんが区報を通じて呼びかけ。そして、10人の有志が集まり、伊賀並さんをリーダーとする「サンダーバード隊」が7月に発足しました。

このチームは、災害時の初期対応や消防団の活動支援を行うだけでなく、

く、雪の多い地域であるため高齢者宅の屋根の雪下ろしなども検討されているそうです。

「ここ3年ほどは、大雪に悩まされ続けています。安全に雪下ろしができるよう、屋根に命綱の支点を作る作業を夏のうちに実施できればと思っています」と伊賀並さん。

そして、「この地域は30年前と比べて人口が半減して高齢化が進んでいるため、危機感を持っています。自分たちの手で地域の安全を守っていくためにも、できることからコツコツと進めていきたいです」と、熱く語っておられました。

8月19日には、サンダーバード隊の実践訓練を実施されとのこと。地域にとってサンダーバード隊は心強い味方になりそうですね。

伊吹山テレビでは、自治会で取り組まれている防災や安心・安全のまちづくりを順次紹介していきます。その名も「絆マップdeまち歩き」。次回の放送ではサンダーバード隊が登場します。ぜひご覧ください。



伊吹山テレビ 番組案内
「絆マップdeまち歩き」

次回の放送予定日は
7月27日(金)～8月2日(木)